



我等行く手の



令和5年度
9月号
利根商
進路だより

10月が目の前に来て、ようやく日中の蒸し暑さも落ち着いてきました。秋の訪れが近づいているのでしょうか。最近の傾向として、秋の期間が短いように感じますが、今年はどうでしょうか。

さて、「～の秋」と聞いて、皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。食欲の秋、スポーツの秋、運動の秋、いろいろ考えることができますが、進路においても重要な秋がやってきました。「就職の秋」です。今月の16日から高校生対象の就職試験が解禁となり、今年は3年生52名が就職試験を受験します。受験者の皆さんが内定をもらえることを願っています。ということで、今回の「我等行く手の」は「就職編」として、「企業が就職試験で重要視すること」や、「就職試験を受けに行くときの服装」について取り上げてみようと思います。

●企業が就職試験で重要視すること

本校に来ていただいた企業の採用担当者に、「企業が就職試験で重要視すること」についてアンケートを行いました。その結果のベスト3を見てみましょう。

- 1位 面接での受け答え
- 2位 出席状況
- 3位 身だしなみ(服装頭髪)

1位の「面接の受け答え」は、「コミュニケーション能力」と同じ意味かもしれませんが、面接に慣れていないと緊張してしまい、なかなか自分の思いを伝えることは難しいかもしれません。また、普段から「正しい言葉遣い」を意識している人は少ないと思います。本校では先生方が皆さんの「面接練習」をしてくださいますが、くり返し練習する必要があります。

2位の「出席状況」は、いざ仕事を任せても、休みが多いと仲間に迷惑をかけたり、仕事が進まなかったりしてしまうところから、欠席日数が少ない方が良いということですね。

3位の「身だしなみ」については、これがしっかりしていないと、相手にマイナスイメージを与えかねませんよね。ではどういう服装で就職試験を受けるのか、それについては「●就職試験を受けに行くときの服装」に載せたので読んでみてください。

●就職試験を受けに行くときの服装

就職試験を受けに行くときは「正装」が基本です。つまり、長袖のワイシャツ、ネクタイ・リボン、ジャケット着用です。これは「高校生だから」というわけではなく、成人の就職試験であっても同様となります。この時期に正装でいるのは正直辛いところですが、これが就職活動のマナーとなります。

ここで、よくあることを一つ。試験会場まで向かうまでのことです。面接官が見てないことを良いことに、ジャケットを脱いで、ワイシャツの袖を捲りたくなることもあるかもしれません。しかし、これは就職活動のマナーとしては良くないことなのです。なぜなら、いくら面接会場近くで服装を戻しても、面接官に「ジャケット脱いで良いですよ」と言われ脱いだ瞬間、袖がシワシワの状態面接を受けることになります。「企業が就職試験で重要視すること」にも「身だしなみ」とあるように、マイナスの印象を与えかねません。注意しましょう。



●1・2年生のうちのできること

なるべく学校を休まないこと、普段の身だしなみに注意すること、そして先生方と話をするとき、言葉遣いに注意していただくこと、これらをまとめると、「学校生活を大事にすること」と言えるのではないのでしょうか。今年度も半分が過ぎようとしています。これまでの学校生活を是非見直してみてください。



●3年生就職希望者向け社会人面接講座

9月6日(水)に3年生就職希望者向けに社会人面接講座が行われました。沼田ロータリークラブとハローワークから、地域の社長と高校生求人担当者が来校し、就職希望者に対し、模擬面接や説明をしていただきました。生徒は、自分が希望する企業の内定を得るため、一生懸命面接練習に励んでいました。

●当面の予定	10月6日	校内選考(大学・短大)	25日	1年進路フェア
	7日	3年普通科記述模試	28日～29日	11月マーク模試
	13日	2年進路フェスタ(Gメッセ)		
		漢字検定		